

令和7年度 卒業例会

サブライム委員会 委員長 田中 雅士

本年度の6月卒業例会を担当しました。サブライム委員会委員長の田中です。本年度は17名の卒業生を送り出す。これまでにはない難易度の卒業例会となりました。全員にスポンサーを当てながら、OBの皆様と現役会員をあえて分けることで、一人一人の最後の時間を作れるよう配慮した例会にし、中でも、手作りにこだわった卒業例会を目指しました。テーマも名札も似顔絵も委員会メンバーの手作りで、テーマは「学校」。学ランとセーラー服、久しぶりの机に座った卒業生を笑いあり、涙ありで見送ることができました。反省点は多々ありますが、これが私の本年度の委員長としての最後の仕事となり、開来年度は、サポート実行委員長として、40名の新入会員を入れるために、中央会活動に邁進したいと思いますので、皆様ご協力よろしくお願い致します。

令和7年度 卒業生

藤原 正実 有限会社叶オート/2005年度入会
岡 大輔 有限会社エーアンドビー/2007年度入会
安岡 大輔 (有)安岡エーエルシー工業/2008年度入会
松島 慎悟 松島事務所/2009年度入会
谷口 毅 つばさ法律事務所/2010年度入会
尾崎 貴絵 社会保険労務士法人AMOYORINO/2011年度入会
後島 孝史 有限会社和島鉄工所/2011年度入会
西原 泰仁 大隈精工株式会社/2013年度入会
岩崎 宗一 株式会社サンマート/2014年度入会

竹本 英二 株式会社ケーオウエイ/2015年度入会
博田 剛次 Act/2016年度入会
山下 大輔 山下建築株式会社/2018年度入会
村尾 明 株式会社シール工房/2019年度入会
小谷 拓也 株式会社アルティマ/2021年度入会
寺谷 勇治 有限会社エーライティングジャパン/2022年度入会
久保 遼昭 三井住友海上火災保険株式会社/2022年度入会
美作 沙知 エンターテイメント88/2024年度入会



越中 恒二 会員
(株)光琳コミュニケーションズ
趣味: 食べること
所属: ミライコンモス委員会

東田 涼太 会員
株式会社 鳥取メカシステム
趣味: キャンプ
所属: アルトループ委員会

奥村 知美 会員
エアリアルヨガ・ナチュラル
趣味: 映画鑑賞、お酒
所属: TRK lab 委員会

中澤 誠哉 会員
株式会社さんらいフーズ
所属: 本気コン委員会

梨原 誠 会員
株式会社 ようり企画
趣味: 料理
所属: アルトループ委員会

山田 庸介
イデアリンク
趣味: ランチ新規開拓
所属: TRK lab 委員会



鳥取県東部中小企業青年中央会
会報

2026年7月発行 N.219

発行: 大垣 審司(第51期会長)
編集責任者: 田中 雅士
編集委員会: サブライム委員会
鳥取県東部中小企業青年中央会

「われわれは自己の研鑽に努め、英知を養う。
「われわれは社会に事仕し、お互いの友愛を深める。
「われわれは団結して中小企業の発展を図る。

URL <http://www.tsc21.gr.jp/>
E-mail tsc@tsc21.gr.jp
FB <https://www.facebook.com/east.chuokai/>



会長挨拶 テーマ「考動」～今の一步が自分を变える～

第52期会長 船越 誉裕



令和8年度、第52期鳥取県東部中小企業青年中央会の会長を務めさせていただく、船越誉裕です。
当会は、英知・友愛・団結の綱領のもと、「中小企業の発展」と「次代を担う後継者の育成」を目的に歩み続け、本年度もまた新たな一年を迎えました。これまでの歴史の中で、私たちは幾度となく環境の変化や社会課題に直面し、そのたびに会員一人ひとりの力を結集しながら乗り越えてまいりました。
本年度のテーマは「考動」としました。「考動」とは、単に勢いで動くことでも、愚案に留まることでもありません。自らの頭で深く考え、正しく判断し、その結果に責任を持って行動に移すという一連の姿勢を意味しています。世界情勢が不安定さを増す中、とりわけ中東地域の原油供給をめぐる緊張は、エネルギー価格や物価に直結し、私たち中小企業の経営環境にも大きな影響を及ぼしています。変化を待つのではなく、変化を捉え、自ら動く力が今ほど求められる時代はありません。だからこそ、考え抜いたうえで即座に動く力を磨いていく必要があります。またサブテーマである「今の一步が自分を变える」には、どんなに小さな一歩であっても、その積み重ねが確実に自身の成長へとつながるという思いを込めました。日々の判断や行動の一つひとつが未来の自分を形づくり、その連続が企業の力となり、地域の未来を支えていきます。今この一歩を踏み出せるかどうか、数年後の大きな差となって表れるのです。
私たち若手経済人は、経験はまだ途上にあります。しかしその分、変化に対する柔軟性と挑戦する意志を持っています。失敗を恐れず、考え抜き、そして行動する。その積み重ねこそが、激動する世界経済の中で生き抜く力となります。
本年度が会員一人ひとりとって「考動」を体現した一年となり、それぞれの一歩が自らの成長と組織の発展につながることを願い、共に学び、共に挑戦し、共に歩んでまいりましょう。その一歩の勇気が、組織を変え、地域を変え、そして次代を切り拓く原動力となることを強く信じています。どうぞ一年間、よろしくお願いいたします。

直前会長挨拶

直前会長 大堀 憲司



会員の皆さま、新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。
昨年度は、「全員主役～自分の居場所は自分で創る～」をテーマに掲げ、活動してまいりました。会長として多くの仲間とともに歩むことができたこと、そして会員一人ひとりがそれぞれの立場で主役となり、会を支えてくださったことに、改めて心より感謝申し上げます。
令和7年度は、17名という多くの卒業生を送り出す節目の年度となりました。長年にわたり青年中央会を支え、数々の挑戦を重ねてこられた先輩方には、私たち現役会員に多くの学びを残してくださいました。それぞれが歩んでこられた軌跡や青年中央会への熱い想いに触れ、この会は人と人とのつながりによって受け継がれ、発展してきたのだということを改めて実感いたしました。
青年中央会の最大の魅力は、仲間と出会い、ともに考え、ともに挑戦し、ともに成長できることです。時には意見を交わし、時には悩みながらも、一つの目標に向かって歩んできた経験は、何ものにも代えがたい財産となります。私自身も会長として過ごした一年を通じ、多くの仲間を支えられ、多くの気づきと成長の機会をいただきました。
本年度、私は直前会長として会を支えるとともに、自身にとっても卒業を迎える最後の一年となります。だからこそ、これまで先輩方から受け継いできた経験や想いを、今度は次の世代へしっかりとつないでいくことが私の使命だと考えています。役員・会員の皆さまが思い切って挑戦できるよう、微力ではありますが、その歩みを支えながら会の発展に尽力してまいります。
昨年度、「全員主役」というテーマのもと、一人ひとりが自らの役割を見つけ、それぞれが輝く一年となりました。その想いを受け継ぎ、本年度は船越会長が掲げる「考動」のもと、自ら考え、自ら行動することで、新たな挑戦と成長が生まれる一年になることを心から期待しております。結びに、本年度が会員の皆さまにとって実り多き一年となりますこと、そして青年中央会が仲間との絆をさらに深めながら、未来へ向かって力強く歩み続けることを心より祈念申し上げ、直前会長としてのご挨拶といたします。

新委員長 挨拶



藤坂 智行 委員長

VIVA委員会

VIVA委員会の委員長を務めます藤坂智行です。当委員会は「みんなとやるからおもしろい。学びを遊びに、遊びを学びに。」を活動テーマに「行動経済学」について、ゲーム・心理実験・スポーツなどを通して、体感的に学び、理解していく体験型の委員会です。リーダーは日々判断し、選び、決断し続けています。だからこそ、机上の知識だけでなく、実際に驚き、気づき、時には失敗する経験を通じてこそ使える力が身につくと考えています。学びを遊びながら全力で体験・体感できる場(学び場・遊び場・気づきの場=「〇ビバ」)を委員会メンバーとともに作り上げていきます。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



堀内 佑樹 委員長

ミライコモンズ委員会

今年度、ミライコモンズ委員会で委員長を務めさせていただきます堀内佑樹です。当委員会では、「子どもたちの未来は、オトナが創る！～想いを考へ～」をテーマに掲げ、年間活動してまいります。子どもたちを取り巻く社会課題や教育課題にしっかりと向き合い、私たち大人に何ができるのかを考えながら、仲間とともに一歩ずつ行動へつなげていきたいと思っています。【挑戦】と【繋がり】を大切にし、メンバー同士が学び合い、支え合い、高め合える温かい委員会を目指します。

また、委員会活動を通じて仲間とのつながりを深め、実りある一年となるよう努めてまいります。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



藏本 慎 委員長

アルトループ委員会

本年度、アルトループ委員会の委員長を務めさせていただきます藏本です。当委員会では、利他的な視点を持ち行動することをテーマとしています。中央会には各々得意なことを持った会員が揃っており、この力を自身のためだけでなく、他者のために動くことで自他ともに成長し学びのある1年になることを目指します。そのために、他者を知り他者のために何ができるか考え、他者の目標達成に対して動き、船越会長の掲げる“考動”を実現します。他者のために、ご協力をよろしくお願いいたします。



田中 勇太 委員長

TRK lab.委員会

第52期TRK LAB.委員会の委員長を務めます田中勇太です。委員会のテーマは「伝える力」です。私たちは日々、多くの人と関わる中で、「伝えたい」と感じる場面を経験します。だからこそ、相手に思いが届く伝え方を、楽しみながら学び、実践できる委員会を目指します。

TRK LAB.には、実験(LAB.)のように挑戦し、失敗や成功を共有しながら成長していきたいという想いを込めました。委員会活動を通じて、一人ひとりが伝える力を磨き、その学びを仕事や地域、家庭へ広げていける一年にしたいと考えています。

1年間、どうぞ宜しくお願い致します。



大門 和輝 委員長

本気ンコ委員会

令和8年度、本気ンコ委員会は「他人事から自分事へ」をテーマに、会員一人ひとりが自ら考え、決断し、行動できる組織を目指します。遠慮や建前を越え、本音で向き合い、相手の価値観や仕事への想いまで理解し合える関係を築きます。また、例会では全員が役割を持ち、ゲームを通じて限られた情報の中で判断する経験を重ねます。失敗を恐れず、まず自分が動く。その姿勢を一年かけて育て、仲間との繋がりと挑戦の経験を、中央会を卒業した後も人生を支える財産にしていきます。委員長として、メンバーの意見や個性を尊重し、全員が当事者として関われる環境をつくりまします。互いに支え合い、本音を伝え合いながら、成長できる一年にしたいと思います。

新副会長 挨拶



松田 禎人 副会長

VIVA委員会

第52期副会長を拝命いたしました松田禎人です。卒会年度という節目の年にこのような大役を仰せつかり、大変光栄に感じております。

第52期テーマ「考動」のもと、船越会長の想いが委員会活動の隅々まで浸透し、実践へとつながるよう努めてまいります。また、担当するVIVA委員会では、藤坂委員長、小杉副委員長をはじめ、若く勢いのある会員の皆さんと共に、青年経済人としての在り方を追求してまいります。先輩方から受け継いだ理念と伝統を次代へつなぎながら、率先垂範の姿勢で会の発展に尽力してまいります。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



太田 裕秀 副会長

ミライコモンズ委員会

昨年度に引き続き、第52期も副会長を務めさせていただきます、太田裕秀です。本年度は「ミライコモンズ委員会」と「しゃんしゃん実行委員会」を担当いたします。船越会長が掲げるテーマ「考動～今の一歩が自分を変える～」のもと、会員一人ひとりが主体性を持ち、自ら考え行動できる組織づくりを支えてまいります。委員会活動や事業を通じて、会員同士のつながりを深め、地域や会の発展に貢献できるよう全力で取り組んでまいります。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。



中村 剛 副会長

アルトループ委員会

本年度、副会長を務めさせていただきます、中村剛です。今期で在籍16期目となり、その経験を活かしながら船越会長の全力で支えていきたいと思っています。

また、担当させていただくアルトループ委員会を利他的な心でサポートし、楽しい委員会になることを期待しています。至らない点も多々あるかと思いますが、1年間よろしくよろしくお願いいたします。



戸井 大樹 副会長

TRK lab.委員会

本年度、副会長を務めさせていただきます、戸井大樹です。初めての副会長という大役に身の引き締まる思いですが、船越会長が掲げられた「考動」というテーマのもと、自ら考え、率先して行動し、一つひとつの活動に真摯に取り組んでまいります。

また、多くの仲間との出会いや対話を通して学びを深め、委員会や組織の発展に生かすとともに、この一年を通して得られる経験を自身の成長はもちろん、自社の成長にもつなげ、学んだことを実践へと生かしてまいります。

1年間、副会長として精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



山崎 拓也 副会長

本気ンコ委員会

本年度、52期副会長を務めます山崎です。今年34歳という年齢ですが、委員長や副委員長の気持ちを取り、中央会の綱領のもと委員長、副委員長が役員を受けて良かったと思える年度にしたいと思っています。委員会と同じく、会員増強と親睦を担当しますサポート実行委員会の担当副会長として、会員減少が止まらない中、中央会ブランドを保ちつつ新たな仲間を都度見つけていきます。中央会で私自身、助けられた身であり中央会が大好きな人間です。その想いをこれから関わる多くの会員さんと共有し、5年10年とより良い会の活動ができるように全身全霊、自分の役割を全うします。諸先輩方、会員の皆様若輩者ですが、1年間宜しくお願い致します。